



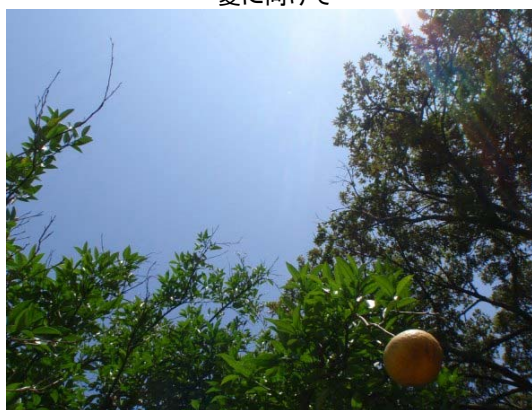
Ocean Family News

…… 海は楽しい 海はすばらしい 海は大切 ……

2008
Summer
Vol.026

Contents

夏に向けて



梅雨があけると、いよいよ夏本番！今年の夏も暑そうですね。
ガソリン価格が高騰する今、休みの日は自然の中でのんびり
過ごしてみてもいいいかがですか？

事務局からのお知らせ

2008年度 サマースクール参加者募集中！

われら海洋族

親子環境セミナー報告

本&イベント紹介

御蔵島便り

葉山便り

海辺の安全マニュアル

スケジュール

ボランティアセンターからのお知らせ 編集後記



事務局からのお知らせ

SUMMER SCHOOL

2008年度サマースクール

◇佐渡島サマースクール

テーマ：日本海の高藻の海に生きる生物たち

【ガラモ林（ホンダワラを中心とした海藻の森）、キュウセン、アナハゼ類】

【開催期間】8月4日（月）～8月7日（木） 3泊4日

【募集定員】25名程度

【参加資格】小学校4年生～高校生



◇座間味島サマースクール

テーマ：サンゴ礁に生きる生物たち

（サンゴとスズメダイ、チョウチョウウオ、クマノミ類）

【開催期間】8月18日（月）～8月23日（土） 5泊6日

※那覇集合・解散希望者は、8月18日（月）～8月22日（金）

【募集定員】20名程度

【参加資格】小学校5年生～高校生



撮影：うみまーる

【申込み方法】申込用紙に必要事項を記載の上、NPO 法人オーシャンファミリー海洋自然体験センターまで
FAX もしくは郵送して下さい。定員になり次第、申込みを終了させていただきます。



親子環境セミナー実施報告

氷河とオーロラ、アラスカからのメッセージ

～子供たちのアラスカルスキャンピングより～

講師 渡辺 直史氏 (アウトドアインストラクター・写真家)

6月は環境月間。

6月7日(土)夕方、葉山福祉文化会館・2階和室で親子環境セミナーを開催しました。

今回は葉山マリンキッズ参加者のお父さんでもある渡辺直史氏を講師にお迎えし、「氷河とオーロラ、アラスカからのメッセージ ～子供たちのアラスカルスキャンピングより～」というタイトルで話していただきました。

オーロラクラブが主催する「アラスカルスキャンピング」。渡辺氏は、2001年から毎年このキャンプをサポートしてきました。氷河の世界やオーロラの映像、そしてエピソードを聞きながら、自然の凄さや美しさ、厳しさを目の当たりに感じました。反面、そんな環境の中でも子どもたちは楽しそうに生活している、一度は訪れてみたいという思いに駆り立てられました。

話を聞いている子どもたちにとって、遠いアラスカの地をイメージすることはとても難しいことです。渡辺氏は、自分たちの住む葉山や日本とアラスカを比較したゲームを用いて説明してくれました。子どもたちの知らなかった遠いアラスカをより身近に感じることができました。

渡辺氏自身が、キャンプをふり返って・・・

今回のキャンプは、天候悪化のため予定日数(5泊6日)が大幅に延長(結局11泊12日)せざるおえなくなりました。その中で、限りある食料や燃料の節約が一番問題になったそうです。氏は、今回の経験から食料、燃料の問題をリアルに感じ、節約するだけでは不十分である。大切に使うことはもちろんのこと、使いながら返していくことが大切だと感じられたそうです。

今、自宅のプランターで植物を育てているそうです。これも植物の光合成を利用して、二酸化炭素の量を少しでも削減することができたら・・・そんな思いから始められたことだそうです。みなさんも身近なところからできる環境に優しい行動を一緒に考えてみませんか。



渡辺直史氏



参加者からの感想として、

- ・ 初めて聞く話が多く、いい経験になりました。
- ・ オーロラなどの写真がびっくりするぐらい美しかったです。
- ・ キャンプに参加している子どもたちがうらやましいです。
- ・ アラスカの星空を実際に見てみたいと思いました。
- ・ 大自然の厳しさと美しさがすばらしかったです。地球が生きていることを実感しました。
- ・ 人間は、自然を壊すことをやめなければいけないと思いました。
- ・ 燃料や食料の大切さを感じました。
- ・ このような話をたくさんの人たちに聞いて欲しいと思いました。



われら海洋族

本&イベントの紹介：ホクレア 星が教えてくれる道

内野加奈子

(海洋写真家・ホクレア号クルー)

2007年夏、ハワイの古代式航海カヌー、ホクレア号が
ハワイ-日本間の航海を成功させた。
唯一の日本人女性クルーであり海洋写真家でもある著者
が綴るフォトドキュメント。

私が「ホクレア」という名の航海カヌーの存在を初めて知っ
たのは、今から10年と少し前になる。

当時、暇さえあれば海のことばかり考えていた私に、ある時、
友人が1冊の本を届けてくれた。そこには、星や風、波とい
った自然のサインだけを頼りに、数千キロの海を渡る星の航
海術の話、そして数百年の間、ハワイで完全に失われていた
その伝統航海が、ホクレアというカヌーを通じて今に蘇った
話が描かれていた。

海、宇宙、古代の叡智・・・想像したこともなかった遙か
なスケールの物語に私の心は惹き付けられた。観光地のイメ
ージしかなかったハワイは、瞬く間に世界で一番惹かれる島
へと変わっていった。日本で大学に通いながら、いつかは海
に関わる仕事をしようと漠然と思い描いていた私は、もっと
本格的に海のことを勉強したいと思い始めていた頃だった。
ハワイに行こう。そう、思い立った。そして、このホクレア
というカヌーを訪ねてみよう、と。(著者あとがきより)



小学館より好評発売中！
価格：1,680円

お求めは、書店・インターネットで！

親子環境セミナーVol. 2 「ホクレア 星が教えてくれる道」(内野加奈子さん講演会)

2007年1月からの5ヶ月間、日本人で初めて、
ホクレア号でハワイから日本までの1万3千キロの旅をした
女性クルーがいた

日時：7月24日(木) 17:30~18:30 会場：葉山町福祉文化会館2F和室 参加費：無料

★18:30~19:30「かなちゃんと語ろう」

講演会后、内野加奈子さんを囲んで交流会を行います。かなちゃんと話してみたい、ホクレアのこと
やハワイのこと、海や自然のことなどを聞いてみたい・・・そんな時間です。是非ご参加下さい。

※当日参加も可能ですが、人数確認のため、所定の用紙での参加申込みをお願いします。

本事業は、JT青少年育成に関する助成を受けて開催します。



内野加奈子プロフィール

海洋写真家。大学で海洋学を学びつつ、写真家として活動を始める。伝統航海
カヌー(ホクレア)の日本人初のクルーとして北西ハワイ諸島への航海など数
多くの航海を経て、2007年ハワイ~日本航海へ参加。自然と人との関わりを
テーマに、ハワイ州立海洋研究所でサンゴ礁のモニタリングにも携わる。
ブログ・・・<http://kanauchi.exblog.jp/>



御蔵島便り

御蔵島ネイチャースクール ～野生のイルカと泳ごう～ 実施報告

6月27日 週末の竹芝桟橋はいつになく賑わいでいました。毎年、天候が落ち着かず、まだ海は遠いなあ感があります。しかし、今回は6月の梅雨の時期にしては比較的安定した空模様で、週間予報も何とかかなりそうな天気でした。加えて妙な低気圧や 前線もなく「これは行くしかないでしょう！」みんなの顔にはそう書いてありました。

今回の参加者はベテランリピーターの方と、そのお友達のおふたりです。東京のど真ん中で関西弁が標準語となる、楽しい空間が生まれました。夜の東京湾を静かに出港したカメラ丸は三宅島を経由して御蔵島を目指しました。

6月28日 朝6時、御蔵島に到着しました。すがすがしい朝です。波も穏やかです。イルカとの再会に心うきです。少し休んだ後、港の近くでスノーケリングをしました。体を目覚めさせるためと慣らすためと魚を見るためです。水温は20～22度と思いのほか温かく、黒潮のおかげを実感しました。昼食はいつもの美美庵で焼魚定食を頂きました。今朝揚がったばかりのタカベの塩焼きやイセエビのお味噌汁は格別でした。午後からは待ちに待ったドルフィンスイムに出かけました。お馴染みの宿まるいの広瀬信郎さんが操船する第3広栄丸で海へ繰り出しました。しばらくすると沖にイルカの群れが！御蔵島に暮らすミナミバンドウイルカの群れです。静かに群れに近づくと、元気に飛び跳ねる赤ちゃんイルカを見ることが出来ました。早速、信郎さんの「入っていいよお」の声で海の中へドボン！気持ちはあせりつつも、ゆっくり泳ぎだすと、遠くのほうからイルカの群れが近づいてきました。そしてその中には体長1m前後の赤ちゃんイルカが大事に守られながら泳いでいました。守られつつも、好奇心旺盛な赤ちゃんイルカは見慣れぬ生きもの(人間)に興味津々です。大きなメスのイルカにブロックされながらも隙間からちらちらと覗く姿は愛嬌抜群でした。イルカと初めてであった人も、何度も出会った人も感激ひとしおのドルフィンスイムとなりました。夜はおなじみのバーベキューです。昼に食べたタカベは、今度は炭火焼きで登場です。夕食の後、他の参加者と一緒に 今日のイルカ談義に花を咲かせました。

6月29日 朝6時、なぜかウエットスーツに着替えて港に向かっています。睡眠不足という言葉はあってないようなもの！ゆったりと泳ぐイルカの姿を見るには早朝が一番です。清々しい朝と御蔵島の海はパンとコーヒーみたいなものです。ご飯とみそ汁のほう合っているかもしれません。ではイルカは？タマゴでしょう！特に赤ちゃんイルカは殻をむいたゆでタマゴのようです。丸くて、ツルツとしています。この日の朝もそんな赤ちゃんイルカとメスの群れが現れました。少し眠たいメスたちは瞳も閉じたままゆったりと泳いでいました。赤ちゃんイルカは早起きです。ブロックされずに自由に泳ぐことが楽しいのか元気に飛び 跳ねる姿は愛らしさ200%です。今年の初夏はベビーラッシュなのかたくさん赤ちゃんイルカを見る事ができました。それに、つい最近生まれたのかもしれないちっちゃなちっちゃな赤ちゃんイルカもいました。また9月に会える事を期待して、第3広栄丸は港に帰って行きました。宿に帰ると本物のご飯とみそ汁が待っていてくれました。雲行きが怪しくなったのはその頃です。大粒の雨がポツポツと降ってきました。島の天気は変わりやすいと言いますが、強い南風の影響が出てきました。風は徐々に南西へと変わり、御蔵島唯一の桟橋は真横から風の影響を受けていました。定刻通りにカメラ丸は現れましたが、その時には立っているのもままならない状態でした。案の定、着岸を試みたカメラ丸は大きく風にあおられ、一度目は着岸 失敗でした。二度目のチャレンジは、見事成功！最後までドキドキの御蔵島でした。東京竹芝桟橋も雨に降られていましたが、御蔵島でのイルカたちとも思い出を胸に、参加者はそれぞれ帰路につきました。

最近まれにみる好コンディションの御蔵島でした。最後はハラハラしましたが、これもまた御蔵島です。

今年の9月もお楽しみに！
(せ)

次回は
9月26日(金)
～28日(日)
です！





葉山便り

2008年度キッズプログラム始動！

葉山マリンキッズ

活動7年目を迎える今年度は2グループ約30名。1年生から6年生まで学校や学年が違ってみんな仲良く元気いっぱい活動しています！

4月は合同プログラム。1年間一緒に活動するマリンキッズ全員とリーダーと共に、活動のフィールドである葉山の海岸を散策しました。午前中は大浜海岸～小磯～一色海岸で磯の生きもの観察や海浜植物とそこに集まる昆虫さがし、午後は長者ヶ崎海岸～大浜海岸でビーチコーミングやアイスブレイクのゲームをしました。5月は磯の生きもの観察と県立しおさい博物館の観察。パティに分かれ、葉山の海辺の生きものについてたくさん学びました。6月はシーカヤック体験。2人～4人乗りのシットオンカヤックを力強く漕いで、海上散策を楽しみました。



マリンキッズ
リーダー募集中！
詳しくは
8ページで



葉山ニッパーズ

活動4年目を迎える今年度はBASICの2チームとNIPPERSチームの計3チーム約55名で活動しています。

4・5月はビーチプログラム。砂の上を転がりながら体全体で砂の感触をつかみました。ランニングの合間には、ドッチボールやおんぶレースなど、遊びながらチームのみんなと仲良くなりました。慣れてくると、スピードとともにパワーをつけるプログラム。タイヤ引きやタイヤ綱引き、50mのビーチスプリントを計測しました。雨の日は、体育館でボールなどの道具を使ったプログラムも行います。

6月はオーシャンプログラム開始！大会にそなえてビーチフラッグスの特訓やウエイディングの練習を行いました。

夏の大会に向けてがんばります！





海辺の安全マニュアル

いよいよ夏本番！でもその前に「いざ」という時に備えておきましょう。野外活動の基本は「自分の身は自分で守る」です。せっかく遊ぶなら、楽しく安全に！



熱中症…暑い場所にずっといると、体温の調節ができなくなって危険です。めまいや吐き気がしたら、すぐに日かげにいて水分をとりましょう。おかしいな、と思ったらすぐに病院へいきましょう。

日焼け…日焼けは軽いやけどです。海では、砂や海面の照り返しがあるので、曇りの日でも油断できません。肌がでていところはしっかり日焼け対策をしておきましょう。



低体温症…体温よりも温度の低い水の中にずっと入っていると、体が冷えてしまいます。くちびるが紫色になったら、すぐに陸に上がり、タオルで体をふきましょう。温かい飲み物を飲むと、早く体が温まります。

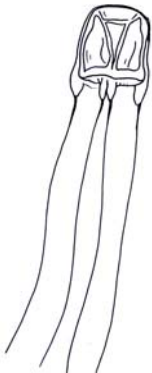
落水など…衣服のまま海や川に落ちてしまったら、衣服の浮力を利用して、仰向けに浮かしましょう。耳を水につけて、ばんざいの姿勢でいると浮きやすくなります。



休日でも消防署に電話すれば、病院を紹介してもらえますよ

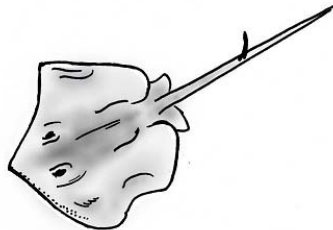


海辺の危険な生きもの



<アンドンクラゲ>

海水浴場で刺されるクラゲの代表種。かさの前方にセンサーがあり、障害物をさけるように泳いでいます。スノーケリングの時などにちょっと観察してみましょう。刺されたら、真水や食酢をかけましょう。



<アカエイ>

砂地に多いエイで、尾のとげに強い毒があります。砂にもぐってかかれています、気が付かないうちに足元にいることも。刺されると、激痛が走って体を自由に動かせないほど。すぐに病院へいきましょう。

<ゴンズイ>

背びれと胸びれに毒があります。海藻にまぎれて打ちあがっていることもあり、うっかり触ると刺されるので要注意です。



危険な生きものを見つけたり、刺されたりしたときは監視所やライフセーバーに知らせましょう！



スケジュール

2008年7月～9月

開催日	プログラム内容	場所	参加対象
7/20(日)	親子海の安全教室(午前・午後)	一色海岸 (葉山)	小学生と保護者
7/24(木)	親子環境セミナーVol. 2	葉山町福祉文化会館	一般
7/26(土)	親子スノーケリング教室	小磯と海の家(葉山)	小学生と保護者
7/27(日)	親子スノーケリング教室	小磯と海の家(葉山)	小学生と保護者
7/28(月)	子どもニッパーボード教室(午前・午後)	一色海岸と海の家(葉山)	小学生
7/29(火) ～30(水)	子どもスノーケリング教室(2日間コース)	小磯と海の家(葉山)	小学生以上
8/4(月) ～7(木)	佐渡島サマースクール(3泊4日)	佐渡島 (新潟)	小学4年生～高校生
8/11(月)	子どもニッパーボード教室(午前・午後)	一色海岸と海の家(葉山)	小学生
8/12(火) ～13(水)	子どもスノーケリング教室(2日間コース)	小磯と海の家(葉山)	小学生以上
8/16(土)	親子スノーケリング教室	小磯と海の家(葉山)	小学生と保護者
8/17(日)	親子スノーケリング教室	小磯と海の家(葉山)	小学生と保護者
8/18(月) ～23(木)	座間味島サマースクール(5泊6日)	座間味島 (沖縄)	小学5年生～高校生
8/25(月)	子どもニッパーボード教室(午前・午後)	一色海岸と海の家(葉山)	小学生
8/26(火) ～29(金)	海辺の水泳教室 (午前・午後の4日間コース)	相洋閣プール(葉山)	小学生
9/26(金) ～28(日)	御蔵島ドルフィンスイム&ネイチャースクール (2泊3日うち船中1泊)	御蔵島	スノーケリング経験者



- ◆ プログラムごとに持ち物、開催時間などが異なります。ご興味のあるプログラムの詳細案内と申込用紙を郵送、FAXまたはメールにて送付いたしますので、お問い合わせください。
- ◆ 天候、海況、その他の理由でやむを得ずプログラム内容の変更、中止の場合がございます。

お問合せ・ご連絡先 **NP0法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター**

TEL:046-876-2287 FAX:046-876-2297 Mail:info@oceanfamily.jp



ボランティアセンターからのお知らせ

2008年7月～9月

葉山マリンキッズ

開催日	プログラム内容	参加条件ほか
7/12(土)	ライフセービングと海の安全教室(カモメ)	葉山セミナーハウス
7/13(日)	ライフセービングと海の安全教室(イルカ)	9:00 集合 16:00 解散予定
7/26(土)	リーダー研修会「スノーケリングにおけるリーディング①」	子供が好きな方・
8/2(土)	スノーケリング教室！(1)(カモメ)	CONE リーダー・
8/3(日)	スノーケリング教室！(2)(カモメ)	ライフセーバー・
8/9(土)	スノーケリング教室！(1)(イルカ)	ダイビングインストラクター・
8/10(日)	スノーケリング教室！(2)(イルカ)	シーカヤックインストラクター
9/6(土)	リーダー研修会「スノーケリングにおけるリーディング②」	担当:津田
9/13(土)	スノーケリング教室！(3)(カモメ)	
9/14(日)	スノーケリング教室！(3)(イルカ)	

葉山マリンキッズ リーダー募集中！

葉山マリンキッズのリーダーにはプロフェッショナルな知識や多彩な経験のみならず、子供が好き！自然が好き！遊びが好き！といった素直な気持ちも大切に感じています。安全で楽しい海での活動を行えるよう知識と技術を身につけるとともに、活動を通して次世代に向けた自然体験活動の大切さを築いていきます。子どもたちと一緒に、全身で海と向き合ってみませんか？

- 対象：18才以上の海が好きな
成人で自然体験活動に理解をもち活動に興味のある方
プログラムのサポート及び指導に当たる意志のある方

- 活動日時：2008年4月～
2009年3月
週末 9:00～16:00 (予定)

- 活動場所：葉山近隣の海と海辺、川や山



ビーチクリーン(オーシャンファミリービーチクリーンクラブ:OBCC)

9/28(日)	定期清掃・海岸ゴミ調査	どなたでも	葉山・大浜海岸	10:00～12:00(予定)
---------	-------------	-------	---------	-----------------

Postscript



美しい日本の田園風景

先日、東北で大きな地震が起こった。その前は中国で。多くの人が命を落とし、家や財産を失った。メディアでは連日、被害状況などが報じられ、募金やボランティア活動も各所で行われている。こんなとき私が思いを馳せるのは、人的被害はもちろんのこと、自然に対するダメージはどれほどか、ということだ。地震や噴火、台風などの天災によって、人間以外の生物にも多くの影響が及ぶ。そして、誰の手を借りることもなく自然は少しずつもとの姿を取り戻す。同じ種類ではないかもしれないが、緑が戻り、動物達も戻ってくる。そんな自然の再生能力のように、少しずつでも着実に復興が進むことを願ってやまない。(み)